

NPO 法人
青春基地

Annual Report
2023.04 ~ 2024.3



青春基地の活動概要

公立高校における長期プロジェクト

プログラムの提供だけでなく、3～5年間の連携協定を結ぶことで、授業づくりだけでなく、チームマネジメントやビジョンづくりなど包括的な学校づくりに取り組んでいます。

2017年度
福島県立ふたば未来学園（総合学科・30名）
場所：双葉郡広野町
科目：未来創造探究

2018年～2021年度
東京都立第一商業高校（商業科・1035名）
場所：代官山（渋谷区）
科目：ビジネス基礎ほか

2022年～2023年度
東京都立日野台高校（普通科・320名）
場所：日野市
科目：総合的な探究の時間ほか

2019年～2022年度
長野県市立長野高校（総合学科・640名）
場所：長野市
科目：総合的な探究の時間

2017年～2018年度
山梨県立富士北稜高等学校（商業高校・60名）
場所：富士吉田市

1校につき、年間100～300人のメンターが参画

© NPO法人青春基地 All Rights Reserved.

約7200人の中高生にプログラムを提供

※2017年から2024年3月末現在のみ算出

多様な学生や社会人を巻き込みながら、探究や課題研究、修学旅行のなかで生徒の個をひきだす起爆剤として、スポットでの授業も届けています。



その他：社会変革事業

教育の再定義にむけたアプローチを模索するべく、研究や新たなプロトタイプを立ち上げる「TANKEN」や、企業やソーシャルセクターと連携した社会変革プロジェクト、企業と大人の越境プログラム「SOTEIGAI」などに取り組んでいます。

NTT DATA
NTTデータ システム技術株式会社

Microsoft
ELAB

一般社団法人
長野県
Magazin Explains

学びプロジェクト
roku you

atelier shimura

社会創発塾
Social Emergence School

kora
株式会社全領域社会創発塾

ほか

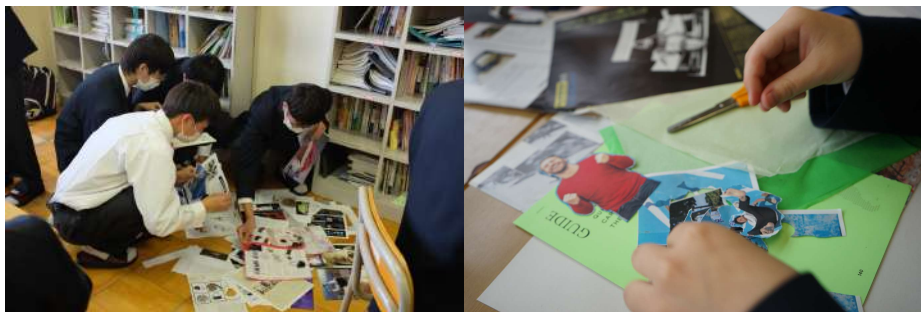


学校プロジェクト

年間1202名、より多くの子どもと学校と出会う

概要

昨年以上により多くの学校に足を運び学びづくりをする機会に恵まれた2023年。合計**1202名**の生徒と出会い、共に時間を過ごしました。年度始まりには、**栃木県足利清風高校**での連続ワークショップを実施。**120名**の生徒たちを対象に、個人探究をする前の土壌を耕す「はじまり」としてコラージュとインタビューワークショップを行いました。また、**都内の公立高校6校、長野県の高校1校**での実践もあり、青春基地として大切にしている「生成」的な学びをより多くの生徒たちに届けることができました。多くの学校で実践したからこそ、青春基地のプログラムづくりにかかる熱量やプロセスがどのような形で反映されるのか実感できたのも貴重な経験でした。どんな学校、生徒たちでも「個」がいかされることで「想定外」は生まれることを改めて感じた今年度でした。



2023.4 足利清風高校にて

カラフルな生徒たちとの時間



公立高校でのジェネレーティブな学びづくり

ジェネレーティブな学びとは？

「生成」自ずと生み出される状態を指す言葉。答えを与える学びではなく、一人ひとりの固有性や思いをいかした学び。

「コラージュ」

雑誌素材を「切る・破る・描く・貼る」といったシンプルな技法で作品をつくるワーク。生徒たちのつくる作品はどれも個性が「出ちゃう」のが特徴。色や写真、フォントが個々の「好き」を反映するほか、作品を通して互いの理解を深める、意外な一面を発見することにもつながる。

「マインドマップ」

「好きなこと」「苦手なこと」「気になること」「こだわりや癖」「性格」といった観点から、自分自身を広げ、深ぼるマッピングワーク。最近撮った写真やスクリーンショット、1番よく聞く音楽なども取り扱い、潜在意識の中にある「好き」や「もやもや」に寄り添い、拾い上げる。

※KDDI財団による助成を活用した実施・研究

「インタビューワークショップ」

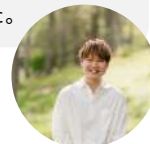
慶應SFC清水唯一朗研究室とのコラボレーションワーク。レクチャー編と実践編に分かれ、「きく」ことのあり方を学ぶ時間となり、その後のマイプロジェクトや探究活動のアクションのきっかけとなる。また、このワークには多くのメンターも参加し、学生・社会人が高校生と交わる貴重な機会となる。

※KDDI財団による助成を活用した実施・研究

ワカモノがつくる学びに迫る

2023年度で印象に残っている実践は、浅草高校（定時制高校）での授業です。好きマップの授業中「俺なんも長続きしないし、あんま好きなことないっす」と言っていた生徒のマップをふと見たら恐竜というキーワードをあり、深ぼってみると「トイストーリーのレックスが見てて心地よくてめっちゃ好きなんだよね」と話しているうちに、自分が心地よいと思うキャラクターを自分で作れたら楽しいかもという話になったのが印象的でした。

インタビュー・小宮山文登





オトナ向けの学びづくり

子どもと共に大人も学ぶ。

三菱みらい育成財団「地域別交流会」／大東学園高校「夏の教育研究会」

【三菱みらい育成財団_地域別交流会（参加者161名）】

三菱みらい育成財団（詳細は[こちら](#)）の助成先を対象にした、地域別交流会を実施。参加者同士がより近く、より自由に繋がっていくことを目指し「参加者」の“コミュニティになる”というコンセプトのもと計6地域による開催の設計・運営を行いました。

今回のメインは“作戦カイギ”ということで、それぞれが「本当に考えたいこと・話したいこと」をテーマにアイデアを出し合う自由な時間を過ごしました。また「知らんけどタイム」という時間には、立場や背景の違いをいかし、より活発に意見を交わし合えるような機会を設定。なるべく「研修っぽさ」をなくし参加者自身の場として楽しんでもらえるよう参加者にチームでのファシリテートを任せるなどの工夫も施しました。参加満足度は平均9.3（10段階）！今年7月末にも実施予定です。

【大東学園高校_教員研修（参加者60名）】

テーマは「探究を解きほぐす」探究の原点でもある“わたし”に着目し、探究のはじまりこそ“わたし”の内側にある好奇心や興味関心であることをワークショップの中で体験しました。

■実施したワーク（一部）

・じぶんオリンピック：白紙に5つの円を書く。ルールがたったそれだけだからこそ、言葉では表せられない自己表現が生まれる。

・対話ワークショップ：ほしい未来について想像し、それに対する現状のギャップ整理と今後のアプローチ方法の議論

「もっと自分の余白をつくり、未知のもの、新しいものに、出会えるように、自分で自分の人生にしかけもつっていきたい」

Pick up!

ニュースタッフ紹介！



- ・1999年6月26日生まれ
- ・静岡県 藤枝市出身（在住）
- ・昭和女子大学・環境デザイン学科 卒（卒論のテーマは、余白のあるコミュニティでした〜！）
- ・趣味は、料理とホットヨガとドラマ鑑賞です！今年の目標は「タイに行ってゾウに乗ること」

4月からスタッフとしてお世話になっている、青木若菜と申します。青春基地との出会いは、大学生時代にインターンをしていた友人に誘われ、第一商業のハイブリット授業に参加したことがきっかけでした。2年の社会人生活を経てカムバックしてから約1ヶ月が経ちますが、あらゆる人たちがゆるくつながる、素敵な余白な場だと日々感じています。私も、学生インターン/社会人プロボノ、そして青春基地の届ける授業で新しい気づきに出会う高校生が関わる中で、想定外の未来に向かう機会をどう生み出していくか、存続していくかを考え、実現することに邁進していきたいと思っています。未熟者ですが、どうぞよろしくお願いたします。



2023年度収支報告(2023.4.1-2024.3.31)

収入	受取会費（正会員/賛助会員費）	¥73,000
	受取助成金等	¥5,812,355
	事業収益	¥7,604,968
	その他（利息等）	¥1,043
収入合計		¥13,491,366

支出	事業費	¥12,856,080
	管理費	¥1,006,574
支出合計		¥13,862,654

収支	当期正味財産増減	△¥371,288
	前期繰越正味財産	¥3,661,138
	次期繰越正味財産	¥3,289,850

特定非営利活動法人 青春基地

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目36-7

南大塚T&Tビル6階 コワーキングスペース

NPO法人青春基地宛

MAIL: info@seishun.style

公式HP: http://seishun.co

NPO法人

青春基地